

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Beトウインクル		
○保護者評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年12月23日		～ 2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様アンケートでは職員の雰囲気明るく、楽しく過ごすことができているとの評価をいただきました。対応についても丁寧に行うことができていると思われま	職員自身が楽しみながら支援することを心がけています。またご家族に対してもコミュニケーションをしっかりと行い、嬉しかったことや悲しかったこと等の共有し、寄り添った支援ができるように取り組んでいます。	ご家族やご利用者様とのコミュニケーションを取る際、より良い情報提供が行えるように職員同士の情報共有やスキルアップに取り組んでいきます。
2	事業所の自己評価では個人の特性に合わせてスペースを使用できていると評価しています。また、ご家族からもバリアフリーになっていることを評価していただきました。	特性やその日の様子に合わせてパーテーションや個室を利用し、落ち着いて過ごせるように配慮しています。また危険がないように配置を行っています。	バリアフリーや配慮は行っていますが、トイレの便座の高さや、駐車がしにくいという意見もあったので検討を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご利用者様アンケートにて中の様子がわかりにくいことや連絡帳のデジタル化への記載がありました。活動プログラムについてもさらに工夫が必要だと考えられます。	感染症対策のために玄関でご家族に申し送りを行っていることで中の様子がわかりにくいことが考えられます。連絡帳についても内容が固定化されており、ご家族にどのように過ごしているかが伝わりにくいことが課題です。	今年度は参観日を設けてご家族に事業所内の様子を見ていただきましたが参加できないご家族も多くいらっしゃいました。今後はLINEを使用して事業所で過ごしている写真を送付する仕組み作りを行っていきます。また活動内容についても児童発達支援管理責任者を中心に検討を行います。
2	職員からは情報共有についての意見が多かったです。支援内容やご利用者様の状態の共有方法の検討が必要です。また、各マニュアルや指針等の周知も課題だと考えられます。	職員全員で集まる時間が少なく情報の共有が難しいことが要因として考えられます。またマニュアル等については変更があった場合や研修時に周知を行っているが、その後の業務との紐付けができていないと考えられます。	情報を周知する仕組み作りを行います。職員のミーティングができる時間帯の検討を行います。マニュアルについては引き続き研修時に説明を行い、確認しやすい場所へ保管場所を変更します。